

# しんぶん赤旗 読者ニュース

2025年7月20日 第2434号  
発行：日本共産党愛西市委員会  
TEL 090-9122-3969 (部内資料)

日本共産党の活動・見解と愛西市の出来事などを紹介します。



## 市長と会派政策懇談会

## 令和8年度予算施策についての5点要望

8月13日の予定で、市長との会派政策懇談会が行われます。先だって日本共産党愛西市議団として会派の政策提案を5点しました。内容を紹介します。

### ①基金運用第三者検証委員会の設置を

基金の含み損が発生していることや、基金の運用に問題がなかったかの検証をおこない今後の基金運用のあり方を決めていくためにも基金運用第三者検証委員会の設置をすることを求めました。

### ②新しい部署を作り、公共施設の整備更新は一元管理を

専門家を含む第三者による検証をおこない今後のリスク管理を進めていく必要があります。

### ③道の駅周辺整備は縮小、管理運営費は削減を

道の駅周辺整備はいったん工事をやめ、あり方について見直し、施設管理運営の費用の縮減を求めます。

50億円の整備費用は高額です。市の財政への影響を少なくするため規模の縮小と施設の管理費用の縮減の必要があります。

### ④小中学校の統廃合の計画は中止。優先して老朽化対策を

## ＜日本共産党街頭演説会＞

7月16日(水)ヨシヅヤ佐屋店前にて日本共産党街頭演説会がありました。50人を超える参加者は、「参議院選挙で自公を少数に」「外国人がたくさん住んでいる愛知県で差別ではなく多文化共生できる社会をつくりたい」との訴えに聴衆は大きくうなづき拍手が起こっていました。

7月20日は参議院選挙の投票日です。投票に行きましょう。



基金の流動性がなくなることによる機動的な住民サービスができなくなってしまう「流動性リスク軽視」。

市長が意思決定をしていなかつた「意思決定の不備」。市長への報告がなされていなかつた「情報共有の欠如」。

空調の不調、雨漏り、ボイラーハンマー、佐織総合福祉センター、佐屋老人福祉センターなどにおいて公共施設の老朽化により、市のサービスに影響が出ています。

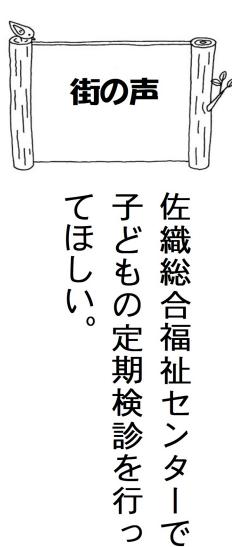
空調の不調、雨漏り、ボイラーハンマー、佐織総合福祉センター、佐屋老人福祉センターなどにおいて公共施設の老朽化により、市のサービスに影響が出ています。

②小中学校校舎老朽化対策を早急に行うことを求めます。  
学校を中心に地域が作られてきました。児童生徒数の減少によって学校統合するという方針は、児童生徒のための適正化とはなりません。特認校制度も検討し、教育の愛西市といわれるようするためです。

校舎老朽化の対策は優先して計画を策定し、対策を進めることにより安全に学べる保障となります。

### ⑤国民健康保険税の負担軽減を

国民健康保険税を値上げしないよう求めます。18歳までの均等割の無料化を行い、市独自減免を拡大することを求めます。基金を作り基金へ繰り入れて激変緩和に備えるよう求めます。令和7年度国民健康保険税が大幅に値上げされ、市民からは高すぎるの声が届きます。稲沢市の取り組みを研究して負担を軽減することを求めます。



老朽化対策基本計画第一期の中学校の統合、小学校の統合の施策の白紙撤回を求めます。

①小規模校のメリットを生かし、学校は、存続する方針へ変更し、教員の確保をすすめ市独自に加配を求める

②小中学校校舎老朽化対策を早急に行うことを求めます。  
学校を中心に地域が作られてきました。児童生徒数の減少によって学校統合するという方針は、児童生徒のための適正化とはなりません。特認校制度も検討し、教育の愛西市といわれるようするためです。

校舎老朽化の対策は優先して計画を策定し、対策を進めることにより安全に学べる保障となります。

### ⑤国民健康保険税の負担軽減を

国民健康保険税を値上げしないよう求めます。18歳までの均等割の無料化を行い、市独自減免を拡大することを求めます。基金を作り基金へ繰り入れて激変緩和に備えるよう求めます。令和7年度国民健康保険税が大幅に値上げされ、市民からは高すぎるの声が届きます。稲沢市の取り組みを研究して負担を軽減することを求めます。

